



## じゃがいものおうち通信

2002年12月24日  
NO. 34

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

「じゃがいものおうち」 〒891-4404 屋久町尾之間136-6  
TEL/FAX 0997-47-3588

発行責任者 松田 正

### 新しい年に向けて

あれもやろう、これもやりたいという思いばかりが空回りした年でしたが、皆さんはいかがでしたか？ そんな中やはり一番のニュースは、尾之間診療所のお陰で念願の療育がスタート出来たことではないでしょうか。制度の壁にとらわれて、思いばかりで動けなかったことが、お陰様でようやくスタートできました。後はみんなでどう育てていけるかだと思います。また「じゃがいものおうち」も当初の予定より少し遅れそうですが、NPO法人の申請をして新たな一歩を踏み出そうとしています。障害者にとっても、やがて我が身の高齢者にとっても住みよい町にするために、皆さんと一緒にいろんな活動や提言をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお祈りします。それでは皆さん良いお年を。  
(松田)

### ジャガイモ植え

どうやって植えるのかしら・・・そう考えている目の前に置かれたジャガイモの数にびっくり、普通は一袋何個の数しか見たことがなかったのでウーもう疲れると言う思いがよぎる。この芽をどう切るのかしら？ こんな芽から実がなるの、不思議な思いで仕事開始。こんな風に切ればいいのか、おやこんな切り方もあったのだ・・・と人を見ながら、ひと時はおもしろくなりました。たくさん切り上げられたイモ程に私も重ねてみようと思いつき上げると重い、やっぱり疲れるわ・・・切る仕事は午前中にあっという間に終わり働いたという喜びがあって昼食の美味しいこと！ 午後仕事があるのも忘れて遠足気分。食事が済んでからはいよいよの植え付け。一列に並んでイモを並べて行く大人子供皆さんの手際の良さにはびっくり。みんなで協力し合うと言うことはこんなに



大きな力になるのだと本当に感心しました。それが仕事をする姿に出ているのです。重い袋を持つ人、肥をふる人、一列になってみんな植える姿、不平を言うこともなく一生懸命働き、その顔はにこにこしているのには又びっくり。一人ひとりが誰かの為に又誰かを助けてあげようと頑張っている気持ちが伝わりました。私もいままで知らなかった一面でしたから、多くの方も関係がないと思わずジャガイモのおうちの内容を知って欲しいと思いました。私は屋久島に来てまだ1年生。都会では経験できない本当に有意義な一日にありがとう。これからもっともっと色々なことに出会えることを楽しみにしています。これからも宜敷くネ。それにしても寒さも厳しくなり雨も多かったのでジャガイモ達は芽を出してくれたのかしら。  
(高山)

### 総会のお知らせ

当初1月に予定していましたが、NPOの書類準備が間に合わず2月23日に開催することになりました。一年の予定と今後の活動に大きく影響するNPOについての話し合いになります。とっても大事な会ですので予定に入れておいてください。なお総会は午後で午前中は変則ですがじゃがじゃが千恵袋を予定しています。  
(松田)

## 恒例のお餅つき大会のお知らせ

今年もやってきましたお餅つき！これが無くては正月は迎えられない！。しかも今年は、両町の手をつなぐ育成会の皆様との交流もあります。楽しく餅をつきながら、凧でも上げましょう。



場所 屋久町 尾之間「じゃがいものうち」  
日時 12月30日(月)朝9時～5時(お好きな時にどうぞ)  
手をつなぐ育成会との交流会は10時～3時頃です。  
持ち物 お昼に、ごった煮を出します。自分の食器、はし、コップ。

正月用の餅をつかれる方は、もち米を前の晩に水につけておき、朝ザルにあけ水気を切って持ってきて下さい。もち米3キ口(2升)でお鏡餅1組と20個の丸餅が出来ます。(たぶん!?出来あがったお餅を入れる入れ物を忘れずに。)

### 『こんな人いますよ!!』コーナー2人め (お地蔵さんの小笠原さん)



なんとも愛くるしい表情のお地蔵さんの作者、よく見ればそっくりの小笠原さん。古いこと年のせいやすく忘れちゃうので、私なんぞが人物紹介するのはためらわれたのですが、グループホームの話やなんかするうちにすっかり意気投合して、私の鶏小屋の上の山を開いて家を造られてお隣さんになりました。そのお地蔵さんも欲しいという人に買ってもらって、ほとんどを“じゃがいものうち”に寄付してくださっています。

また『火』を見れば和むというので家の前にかまど竈をこしらえて周辺の枯れ木でたき火を楽しみ、ついでに薫製をこしらえたり、今度は素焼きを予定されているようです。人生の楽しみ方を心得ておられる私の友であり志です。訪れてみたい方は一度どうぞ。 気楽庵(090-4964-0365) (松田)

## 安房小学校PTA主催 教育講演会

11月15日(金)19:30 安房公民館「じゃがいものうち」との交流会として開催されました。



まず「じゃがいものうち」・・・とはなんですかという事で活動内容や現在までの経過を、スライドを上映しながら代表の松田さんより説明して頂きました。

次に「じゃがいものうち」の一番の特色である障害を持たない人も会員として多くの方々活動されている事について進行役の鈴木より、お話をさせて頂きました。

次に療育の事について、10月1日開園した療育通園事業の「おひさま」について、内容や今までの経過や現在の状況などについて、親の会を代表して楯さんより説明と感想などのお話がありました。

次に障害者を代表して、楯水生輪くんより「じゃがいものうち」との関わり方や、感想などの話がありました。

次に屋久島の福祉について、松田さんより、現在の状況や将来の希望等について話して頂きました。最後に質疑応答になりましたが、あまり質問もなく、ただ通信をもっと多くの方に読んでもらえるように、考えて欲しいとのお話がありました。約1時間30分程で終了しました。

以上が進行状況の説明ですが、私の個人的な意見を書かして頂きます。我々健常者が日常「あたりまえ」と思っている事が、障害者の方々には、「あたりまえ」ではないのです。この世の中に同じように生命を受け、この社会で生きている人々の中に、この「あたりまえ」が「あたりまえ」として受け入れられるような社会が「あたりまえ」の社会といえるのではないのでしょうか。他人事のように感じずに、自分の事として考えてみるべきだと思っております。「あたりまえ」が「あたりまえ」でない人や「あたりまえ」と思っていた人々が一緒になって活動していくなかで、お互いに教えられる事や感動があります。是非皆様も一緒になって、活動しませんか。じゃがいものうちは、大歓迎でお待ちしております。と話をさせていただきましたが、その後参加された人の感想では、楯水生輪君の自分は障害者だと思っておりません、普通の人間として生きているという言葉が一番インパクトがあったようです。今後このような交流会は、障害を持たれている人やその家族の方々との話し合いが一番いいのではないかと思います。(鈴木)

## 支援費制度について

皆さん来年度4月からスタートとなる支援費制度についてご存知でしょうか？皆さんの身近な事からお知らせします。

身体障害者、知的障害者、児童の居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）同じくデイサービス事業、短期入所事業（ショートステイ）が対象となります。利用されたい方は、市町村の役場が窓口です。

申請者は自分で申し込みが出来ない場合は、本人から代行の依頼を受けた者であれば誰でも可能です。

申し込みは来年3月までに行ってください。

3月までに申し込みが出来なかった場合、4月からのサービスが受けられなくなるおそれがありますのでお忘れなく。

上記の内容が分からない場合にはご連絡ください。

佐々木 澄江 自宅TEL 42 - 1597 会社TEL 49 - 4800

さて支援費制度についてごく一部の説明を簡単にいたしました。私たちの住んでいる屋久島には本当にこのようなサービスが受けられるか分かりません。なぜとお思いでしょう。サービスを行う事業所が今のところないのです。残念ながら一部の事業所では身体障害者のデイサービスは行っていますが、他の事業所に至ってはなんにもサービスを行っていません。設備はある程度そろっているのですが、問題は事業所の考え方となるのでしょうか。私自身ヘルパーという仕事をしていますが、事業所の経営そしてスタッフの質の高さなど問題があります。まだまだ来年度の支援費制度には問題が山積みです。（佐々木）

## —— 良く聞く言葉 1 ( 随時掲載 ) ・ ・ ・ ノーマライゼーションとは ——

障害を持つ人も持たない人も平等に暮らすことが出来る社会こそノーマルな社会であるとする理念。1950年代、福祉先進国といわれる北欧でも、知的障害者は治療、教育を名目とした隔離的、保護的施設での生活を余儀なくされていた、つまり収容されていた。その施設の中には1,500ベッドといった巨大なものもあり、そこでは非人道的な処遇もなされていたという。こうしたなかで、物理的環境や処遇のあり方の改善を求める親たちに共鳴し、バンク・ミッケルセンが改革の道を主導していった。その後北米にも広がり、日本では1981年の国際障害者年の「完全参加と平等」のスローガンによって理解が深まっていった。この理念に基づいて、わが国では1995年に「障害者プラン～ノーマライゼーション7カ年戦略」が策定され、障害者が、地域社会において完全に社会参加でき、他の市民と同じ生活条件が得られることを目標に各種施策が講じられている。ノーマライゼーション7カ年戦略には次のような基本理念が掲げられている。「地域で共に生活する」「社会的自立の促進」「生活の質の向上」「バリアフリー化の促進」

(松田)



りえ子さんが書いた絵です。



こちらは、屋久島の衛星写真です。

## 編集後記

今回のサポートは松田さんでした。さすが代表！？話は飛んで、喫茶を土日も渡辺まみよさんが開ける様にしています！暇な時間を無くす為にどんどん来て下さい。

(編集)